

第12回 日本外来小児科学会 予防接種委員会 議事録

文責：藤岡雅司

開催日時：2012年7月16日（日）12:00-15:00

開催場所：ホテル新大阪 東口ステーションビル

出席者：永井崇雄、岡藤隆夫、落合 仁、武内 一、藤岡雅司、横田俊一郎、
渡辺 博、

欠席者：田原卓浩、寺田喜平、宮田章子、宮崎千明、吉川哲史

[報告事項]

1. 2011年決算・2012年予算（藤岡）

2011年決算の支出は会議費2回59,590円、システム検討会協力費100,000円。
次年度に321,200円繰越し。

2012年予算は会議費200,000円、システム検討会協力費100,000円で申請予
定。調査費は繰越金を充当する。

勤務医の交通費計上を理事会に諮る。

2. 予防接種委員会の研究の現状報告

「MR ワクチンの発熱率はそれほど高くない？」の論文化について（岡藤）
外来小児科誌に投稿予定。

3. 第22回年次集会について（横田）

予防接種関連プログラムが非常に多い。

前夜セミナー、セッション（2）、ランチョンセミナー（8）、アフタヌーンセ
ミナー、一般演題（19）、パネル展示（1）、ワークショップ（2）

4. 厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会、予防接種推進専門協議会、日本
小児科学会予防接種感染対策委員会などにおける最近の議論の方向性につ
いて（宮崎、代読）

① 日本小児科学会予防接種感染対策委員会：7月16日に新委員による第
1回委員会開催。担当理事は、防衛医大 野々山教授と北大 有賀教授。

- ・ 「同日接種」と「BCG接種期間」に関する要望書提出。
- ・ 「予防接種に関する評価・検討組織に関する提言」と「A型肝炎ワ
クチンの小児適応拡大に関する早期承認について」の理事会承認と
予防接種推進専門協議会への提出。
- ・ ワクチンの接種間隔の検討。（不活化ワクチン、BCG後の間隔）

- ・ 水痘、ムンプス、B 型肝炎ワクチン定期接種化に関する要望書検討。
 - ・ 不活化ポリオワクチン移行の課題検討。
 - ・ 腸重積症発症調査経過報告。
 - ・ 風疹流行及び麻疹排除計画の再検討。
- ② 厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会：5 月 23 日二次提言後の部会開催は未定。水痘・ムンプスは予算化の目途が立てば定期接種実現？ B 型肝炎は再検討とされた。厚労省担当課は法案整備と予算獲得で手一杯の様子。
- ③ その他
- ・ DT の DPT への移行は、各メーカーが治験を行う様相。
 - ・ ロタリックス市販後調査の中間報告で腸重積は1万接種に1例程度。
 - ・ 即時型アレルギーが多かった化血研インフルエンザワクチンは、フェノキシエタノールをチメロサルに変更予定。
 - ・ PCV13 (Pfizer)、PCV10 (GSK) が承認申請予定。
5. 日本小児科医会、日本医師会の動きについて（横田）
- ① 日本小児科医会：すべての予防接種の定期接種化・広域化と予算確保、予防接種委託料金に対する地区医師会の関与（多額の事務手数料）、不活化ポリオワクチン納入価格等について日医への要望
- ② 予防接種リサーチセンター、ガイドライン等検討委員会：インフルエンザ予防接種ガイドラインの検討（接種の実際、接種部位、副反応報告等で変更事項あり）
6. 予防接種システム検討会について（藤岡）
2011 年は近畿外来小児科学研究会と併催を検討

[協議事項]

1. 同時接種の拡大に伴い、我々の検討すべき課題は？
2. すべてのワクチンの定期接種化に向けて、我々の行動すべき方向は？
特例交付金対象のワクチンも含め、実費徴収の状況について調査公表
3. 次のリサーチテーマは？
小学生対象の予防接種教育プログラムの検討
4. 個別のワクチンについて
 - ・ IPV、DPT-IPV 導入に関する問題
4歳以降の追加接種の検討
 - ・ ロタワクチンに関して
 - ・ 水痘、ムンプスの定期接種化
2回目接種の時期の検討
 - ・ Hib、PC7（いずれPC13？）、HPVの定期接種化
接種間隔の解釈（間隔が外れると定期接種ではない）是正の必要性
 - ・ MR ワクチン3期、4期追加接種の勧奨期間の終了に伴う問題
麻疹対策会議での検討が必要
 - ・ HB、HA、狂犬病などその他のワクチンについて
保護者の意識の方が先に変わっていくのではないか。
5. 次回の委員会開催予定
2013年1月中を予定、メーリングリストで調整